

発行所
石川県保険医協会

金沢市尾張町1丁目9番11号
〒920 尾張町レジデンス2F
電話 (0762) 22-5373番
発行人 平松昌司
印刷所 ユーアイ印刷
(会費月額 3,800円)

石川保険医新聞

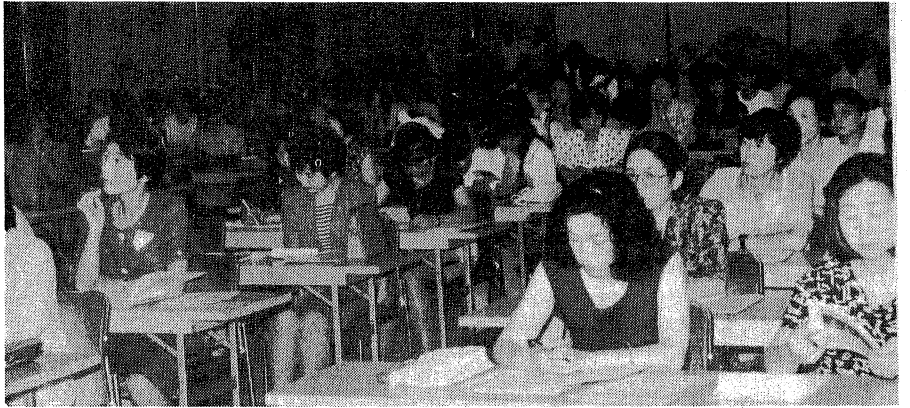
《主な記事》

- 2面 軽井沢セミナー
- 3面 小松市で健康なんでも相談
- 4面 スウェーデンと日本の比較
- 7面 舩倉島総合診療

持論

保険医年金の募集期間がやってきました。退職金や恩給などのない我々開業医にとっては、保険医年金は自衛手段であり、休業保障やグループ保険とともに、安心して診療に従事するための大きな保障となるものです。

保団連・保険医協会が開業医のために開発したこの三大共済制度は、民間のほかの制度よりも格段に有利で、保険医協会に入会することの大きなメリットの一つになっています。とりわけ保険医年金は、老後を安心して暮らすためになくてはならない制度と言え、開業医のライフスタイルに実にマッチ



138人の参加者で、熱気あふれる会場 金沢市文化ホール(7月22日)

コ・メディカルと医師のための講習会

在宅で「110」までできる 床ずれの予防と処置

スライド・テキストを使って
床ずれの予防から処置まで

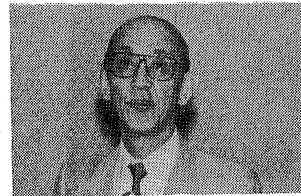
七月二十二日、金沢市文化ホールでコ・メディカルと医師のための講習会「床ずれの予防と処置」が開催された。協会理事の安藤良一先生



公立松任石川中央病院 皮膚科医長 石倉多美子先生



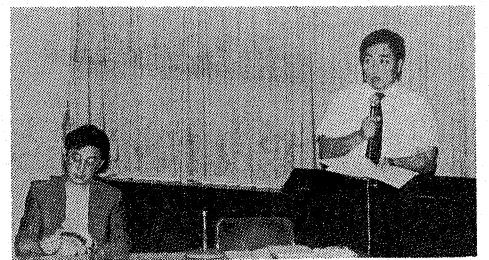
公立松任石川中央病院 病棟看護婦長 吉村信子氏



保険医協会理事 安藤良一先生(金沢市・内科)

講師陣

講習会には、医療機関の職員ばかりでなく、保健婦・特養ホーム職員・市職員も参加し、総数約百三十八人に達した。安藤先生の床ずれ処置のスライドを見て、初めて褥瘡のひどさを知った参加者も少なくなかったが、一方、実際に在宅医療を行っている医療従事者からは、訪問



司会の井沢宏夫理事と西村邦雄理事

日本一の保険医年金 開業医に大きな味方

した制度につくりあげられています。年金の一部のみを解約したり、一時的に掛け金の払い込みを中断したり、あるいは簡単な手続きで担保融資を受けられるなど、せつかくの年金原資を解約することなく、利子配当を

用方法をアドバイスしてくれ、万一疾病などのときには、休業保障制度などと合わせて、先生本位の手続きを丁寧迅速に行ってくれます。そして、なんとといっても保険医年金の最大の魅力は、制度発

師年金を追い越し、数ある企業年金の中で全国一の規模を確保しました。さらに保険医年金は、今年度募集から、今までの月払いに加えて一時払いの制度が遂に新設されました。一口百万円、二十

増やしながら利用することが容易に出来ます。そしてこれらの手続きは、営利を主目的とした保険会社ではなく、保険医協会の事務局が窓口になっていることも大きな魅力です。先生の要望に最適な利

を維持していることです。一時払養老保険やMMC、金貯蓄といった高利回りを誇る金融商品が出回っていますが、これらはいずれも保険医年金を上回るものではなく、今では医師会の医

安全で、高利回り、手続きが簡単といえは金融商品選択の力となるわけですが、保険医年金はそのいずれをも満足させてくれる制度です。また同時に設けた在宅介護用品の展示コーナーも好評で、パンフレットがなくなってしまうほどであった。

医心凡語

黒部峡谷の源流に、雲の平と呼ばれる台地がある。薬師岳、黒部五郎岳、水晶岳など峻な峰々に囲まれて、雲の平だけは別天地のように穏やかな表情をみせている。この一角に高天原と呼ばれる高原があり、高山植物が咲き誇っている。交通手段が飛躍的に進歩した現在でも、高天原に至るまでには一泊二日の山行を要する。まさに桃源境といえよう。高天原には小さな露天風呂がある。赤牛岳から降りた谷川の河原にその露天風呂はある。山行に疲れた体を自然のまっただ中にある湯壺に浸す気分は格別である。ことに、夜半、満天の星空の下での入浴は、山を愛する者だけに許された特典であろう。

高天原の周囲の山々の頂には、各々小さな祠(ほこら)があり、石造りの仏像や修験者の鉢(こ)がおさめられている。なかには風雪に朽ち果てて、単に岩のくぼみとしか見てとれないものもある。登山者たちは、頂を踏むとき、そんな祠にそっと手を合わせて次のピークへと歩をすすめる。迷信ではない。山に対する礼節である。

近代科学の発達と市民生活の向上は、信仰の対象であった山々を観光の地と変えた。それはそれで意義あることかもしれないが、山をながめる気持ちとともに失われてきたことも否めない。せめて山の頂だけは、いつまでも神聖で清浄な場所であってほしいものである。

〈第1回〉 経済学 セミナー

東西関係の激変と世界経済の行方

コメの自由化、イラク問題など 最近の話題にも触れて大好評

八月二十五日(土)午後六時から、金沢都ホテルで、第一回経済学セミナーが開かれました。

八月二十五日(土)午後六時から、金沢都ホテルで、第一回経済学セミナーが開かれました。

「なぜ「経済学」のセミナーか、というご意見もあるかと思われまふ。しかし、経済大国と言われながら国民の生活が決して豊かにならぬまま、我々開業医の経営もまた悪化するばかりで、その原因を探り打開するために、今こそ経済学を読み取る力が必要なのです。

政府・厚生省は、財政事情を理由に診療報酬を押し下げ、受診抑制策を柱にしたあらゆる手段による医療費の抑制を図っています。国民が安心して医療を受けられ、病・医院が健全な経営を営むだけの財政措置



講師の村田 武先生 (金沢大学
経済学部教授)

医療を考えると、第一線医療の担い手である我々がそのイニシアチブを持たなければならぬのは当然ですが、多忙な日常診療に加えて、深刻な経営状態を心配しながらでは、ともしれば十分な力を発揮出来なかつたことも事実です。ここで、その悪循環から脱却するためにこの度、保険医協会と親しい、地元金沢大学経済学部の先生方の協力を得て、医科・歯科医師のために企画されたこのセミナーに、ぜひ参加されることをおすすめします。

今回第一回目のテーマは「東西関係の激変と世界経済の行方」と題し、村田武教授にご講演頂きました。紙面の都合でその内容はここでは省略しますが、講演のあとも約一時間半にわたって出席者との懇談が行われ、米の自由化の問題や、イラク問題など最近の話題にも触れられ、参加者は一様に「意義大きい企画、参加して良かった」と評価されています。

講演の内容はビデオ録画してありますので、ご希望があれば協会事務局までご連絡下さい。

第二回目以降のセミナーの日程については案内チラシをご参照ください。

報告 軽井沢サマー・セミナー'90

在宅歯科医療を通して考える地域づくり

全国から97人の臨床家と保健・福祉関係者が集う

8月18・19日 ホテルメゾン軽井沢

参加者の熱心さに

一種のカルチャーショック

江守 道子 (金沢市・歯科)

歯科医が、こんなに熱心に寝たきり老人について討論をしている姿を見たのは初めてだったので、卒直に言って、一種のカルチャーショックでした。

涼しい軽井沢では予想通り若者が多く、どこへ行っても人の列だった。「これじゃ、のんびり出来ないな」という主人に、「一緒に、セミナーに出席したら？」と急遽二人で参加することになった。

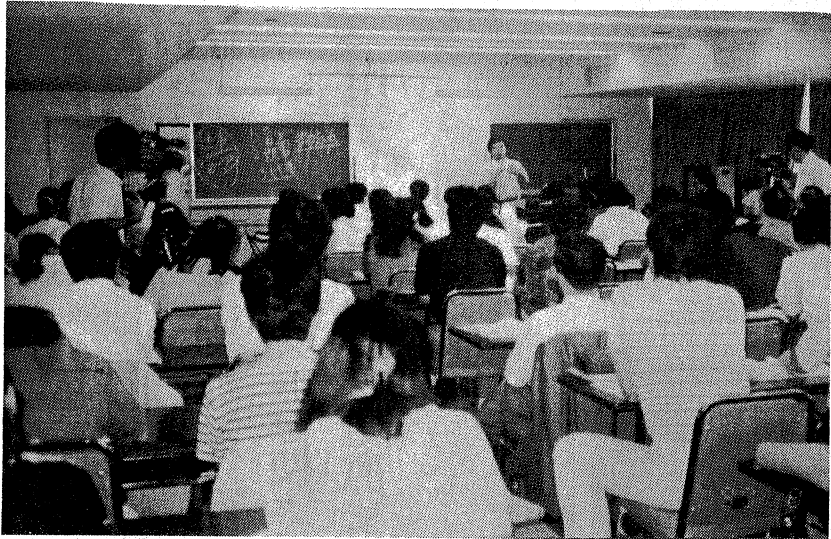
初日の講演「欧米の医療福祉にふれて」では、福祉の先進国である北欧で、老人も障害者もすべての人が差別されることなく平等に、あらゆる権利を持っているという思想がその根底にあると力説しておられた。そして、現在、日本で「在宅医療」「高齢者対策」を論じている時、すでに欧米ではその対策が第二段階に入

り、Normalization(老人や障害者を特別視することなく、ごくあたりまえの存在としてみる)が学校教育の中にも生かされているというところだった。その後、立食パーティに入り、出席者の皆さん方との楽しい話が延々と深夜に及びました。おかげで二日目は少し寝坊をしてしまった。

今回のセミナーに参加して、医科と歯科の垣根を越えて、さらにパラメディカルスタッフの方々の視点や発想に至るまで、一つの話

詰碁解答

1. 3が好手で、一手勝ちとなります。



すっかり 定着した軽井沢セミナー
涼しい軽井沢で熱気あふれるセミナー

八月二十一日、今年最高の三十五度の暑さの中を、速くは小松の勝木先生、紅一点の江守先生ほか多数集まり、各部報告協議事項に取り組みました。

全員のボランティア活動なのですが、自由な発言で笑いの入る朗らかな会です。医師を取り巻くあらゆることに挑戦して打開と向上にとめる場合は本当に意義深いものです。

最後に、会員の先生方からこのようなセミナーへの積極的な参加をぜひおすすめしたいと思えます。

評判のよい病院マップの次は福祉マップ発行準備。在宅医療マニュアルにも取り組む予定。不合理点数改善への厚生省申し入れ、歯科緊急是正運動、九月三十日に門前で開かれる「老後問題を考える石川のつどい」など、協会がやらねばならないこと、やりたいことはたくさんあります。石川の地に灯された火が永遠に燃え続けることを願います。(平松記)

理事会点描

やりたいことが いっぱい

第6回理事会 14人出席

近ごろ職員の給与関係の問い合わせが多いそう

原爆被害者援護法の制定をめざして

医院窓口に一週間で五千四百人の署名と募金箱を設置 八千七百円の募金

大野内科医院院長 大野幸治(金沢市)



大野内科医院窓口につけられた、署名と募金を呼びかけるコーナー

原爆被害者援護法案が現在国会の継続審議になっていて、同法の成否は九月からの臨時国会が山場となっています。

原爆被害者援護について、戦争による犠牲はすべての国民がひとしく受忍しなければならぬものであって原爆被害者だけが特別扱われるのはおかしいと、即ち反対の声も聞かれます。

しかし考えてみると戦後の貧しかったころは別として、

原爆被害者援護法の制定を求める署名にご協力下さい

この秋の臨時国会で、被爆者援護法を成立させるために、いま全国各地で二千万人署名運動が広がっています。

政府がこの法律をつくらぬ理由は「戦争の犠牲は全国民が等しく受忍すべき(受忍論)」と、「一般戦災者との均衡論」の二つです。

しかし、原爆被害を受忍することは、将来の核戦争の犠牲を受忍することにつながります。

国家補償による被爆者援護法を国会で成立させることは、核戦争の犠牲を拒否する日本国民の権利です。

会員の皆様で、この被爆者援護法の制定を求める請願署名に賛同いただける方は、すでにお送りしてあります署名用紙をご利用いただき、協会事務局までご返送下さい。なお、署名用紙が足りない方は協会事務局までご請求下さい。〇七六二(二二)五三七三

で、現在は経済大国となり、爆者を含めて戦争の償いをふるさと創生に国が三千億

円も出せる時代となったの、原爆被害者援護法の成立を

望むものです。私の最近のささやかな経験ですが、受付窓口で

りをお願い「原爆被害者援護法制定のための署名と十

円以上のご協力をお願い」

を出したところ、一週間で五十余人の署名と八千七百

三円のご協力が寄せられたのにはびっくりさせられました。千円札が数枚も入って

いました。手作りが良かったようです。署名される患者さんの中には、終戦直

後、海外から引き揚げる時の辛かったことを話され、被爆をした人はさぞ苦しかったでしょうと涙ぐんでお

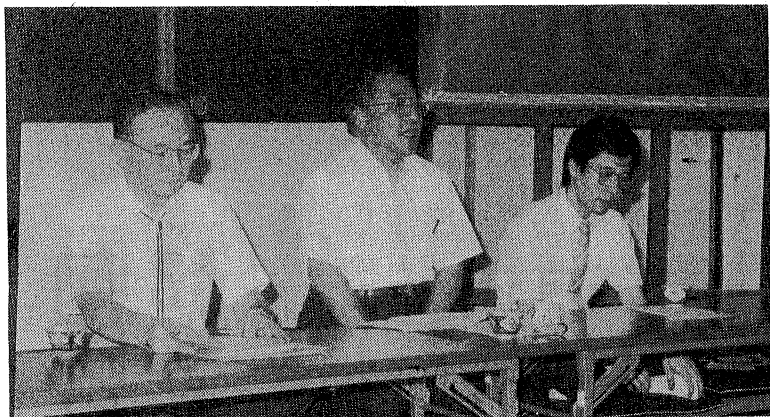
られた方もありました。ご協力はさっそく石川県原爆被害者友の会(会長

岩佐幹三さん)へお送りし、受付にお礼とご協力金の報告を出しておきました。

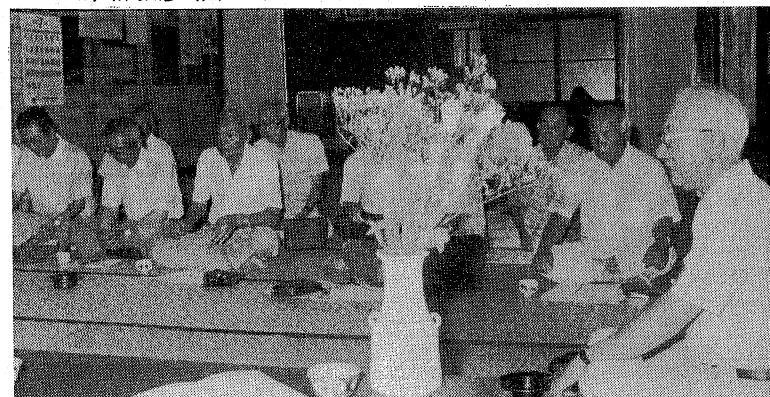
協力基金箱は小型のティッシュペーパーの空箱で簡単に作れますので、意のある方はお試下さい。署名用紙は保険医協会事務局にあります。

小松市で健康相談開く

「老いと対決」をテーマに 岩田卓造先生(小松市)が講演



講師陣、左から勝木道夫(整形外科)、岩田卓造(内科)、中新敏彦(歯・口腔外科)各先生。



あらかじめ用意してあった質問の解説を熱心に聞く27人の参加者

たくさん質問に丁寧な回答

小松市立音城公民館館長 丸次 礼治

小松市音城(ろじょう)公民館の高齢者学級では、石川県保険医協会のご協力により、毎年一回「健康な

ら、「老いと対決」と題して、脳と心、脳出血、心筋梗塞、腸閉塞、B型肝炎、魚の効用(食事)、体のリズム、風邪の治し方など、健康やかな心と体についてのお話があり、次いで、筋骨格、皮膚、呼吸、体格、精神、脊椎の湾曲、じんま疹、喘息、肥満、高脂血症、心身症、問題行動などについて

の注意すべき点のご指

導をいただきました。

次に、予め取りまとめた質問事項について、「耳鳴りについて」(七十二歳・男)、「腕の痛み(睡眠中も)について」(六十六歳・男)、「腰痛について」(七十一歳・男)、「義歯について」(七十一歳・男)、「魚の目について」(七十二歳・男)。

日中の激務でお疲れにもかわらず、夜間の心暖まるご指導、心からお礼を申し上げます。

政府は「日本の福祉レベルは先進国なみ」と宣伝していますが、事実でしょうか。福祉先進国のスウェーデンと比較してみるとあまりに大きな差にがく然。老後に備えてお金を貯めなければならぬし、うっかり病氣にもなれない、年もとれないというのが実態です。

スウェーデンとの比較でみる日本の福祉レベル

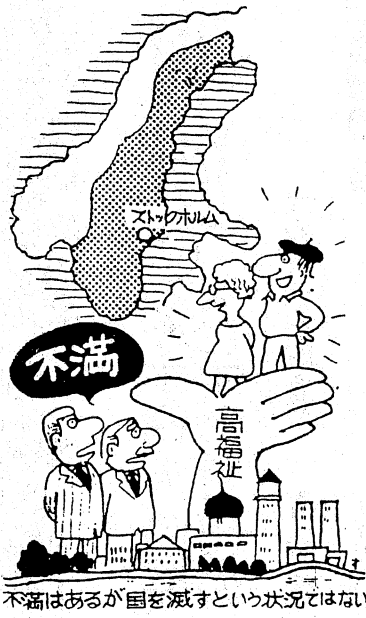
国内総生産の53%を福祉に

保険料の合計では、国内総生産の五三%にもなりません。これだけ取られると、勤労意欲をなくしてしまうのでは、との疑問もわいてきます。実際、働いて百得られるところ、休んでいても九十五は補償されるのですから、「これ以上働くのはやめよう」と考える人が増えてきて、社会の活力が失われつつある、という指摘があります。

福祉の恩恵を受けるまでに時間がある若年層からは、福祉体制への批判が強くなり、医者や大学教授などのエリート層からは「ブルーカラーと賃金が同じでは……」という不満も出てきています。

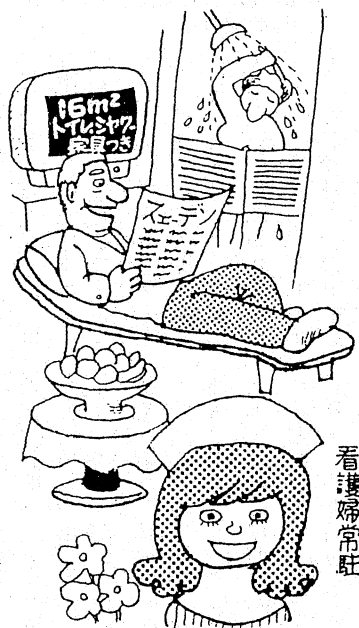
世界一の福祉大国といわれているスウェーデンも二十世紀初めまではヨーロッパで最も貧しい国の一つでした。そのため十九世紀までは、食糧難が起きた時は老人を崖から落とすというひどいぶちを減らすということもあつたといわれています。

しかし、失業率は一・五%と日本以上の好成績で、代表的な企業は米フォーチューン誌の資料でも世界の上位五百社に二十社以上が顔を出す競争力を保つなど、「高福祉が国を滅ぼす」という状況ではありません。



不満はあるが国を滅すという状況ではない

医療費の心配なく、十分な年金 スウェーデンの長期療養病院



看護婦常駐

スウェーデンで八〇年代に建てられた長期療養病院は、十六平方メートル程度の個室にトイレとシャワーが付き、本人が使い慣れた家具の持ち込みもできるよ

うになっています。さらに最近ではヘルパーや看護婦が常駐しているアパートとして「グループハウジング」も盛んになっています。

ある施設では、一階に医療機関のほか、レストルームやレストラン、二階は住居部分になっています。レストランではタラのムニエル、チキンステーキ、豚肉のヒレ、ハンバーグなど豊富なメニューにワインやビールも用意されて、六百元ほどの値段で食べられます。



実は七〇年代までは、今の日本と同様、病室スタイルの雑居が当たり前でした。しかし、介護者の助けがあればベッドから起きて生活できる老人でも、雑居生活では寝たきりになってしまいうケースが多いとの実態から、病室や個室であっても、できる限り普通の市民と同じ生活をしてもらおうとの試みがされてきました。

日本 老後に備えて貯金 経済的不安が七割

日本人の平均寿命は女性八一・七七歳、男性七五・九一歳。一九八五年に世界一になってからその座を守り続ける「長寿大国」です。しかし、長い老後を支えるための年金や医療のレベルは、臨調行車の下で切り下げが続いてきました。その結果、経済的に働かなければ生活できないという状況が生まれ、日本人の六十五歳以上の就労率（男性四六%、女性一六%）は、発展途上国並みの異常な高さになっています。

政府は「日本の福祉レベルは先進国なみ」と宣伝してきました。一九八九年版厚生白書でも厚生年金平均受給額十三万三千二百円をスウェーデンの十三万六千五百五十円と比較する表を載せています。しかし、為替レートで見ればスウェーデンと同程度ですが、購買力では六割程度。また年金

日本の福祉は先進国を遥かに超えている

広大な国アメリカ 人の心まで広く

江守道子 (金沢市・歯科)

ボランティアが活躍するアメリカ

私がアメリカ生活を通して感じたことを、もう少し付け加えたいと思う。
第一点は、アメリカ社会全体で、若者の意識が宗教から離れつつあるとはいえず、キリスト教への信仰が、今もなお根強いせい、人々のボランティア活動が実に盛んだったことである。

のあたりは、仏教がベースにあり、なおかつ人々が無宗教に近いといわれる日本社会とは本質的に違うところかもしれない。
特に定年を迎えた多くの人々が、何らかの奉仕活動に参加していた。例えば、病院のヘルパー、学校給食の手伝い、教会で行われている外国人のための英語教育、障害者の訪問看護など、実に多岐にわたっていた。

宅歯科医療を通して考える地域づくり」に出席した。その討論の中で、人口約五万人のある市で、障害者のためのボランティアを呼びかけたが、一人の応募もなかったとの報告があった。私は、日本の将来と、自らの老後設計を深く考えさせられてしまった。そして最近、ある新聞の社説で、学校教育の中に、ボランティア学習を取り入れる必要性を強調していたが、私も「点数至上主義」の学校教育は、まさに転換期に来ていると改めて思う。

ごく普通に 行われる 養子縁組

第二点は、Adapted Child (養子縁組制度) が、ごく普通に行われていたということ。これは、新聞などでも「養子を求める」という広告が多いことでもよく分かる。そして、それは、子供がいる、いないに無関係だったし、子供の国籍もバラエティに富んでいた。

養子ももらつつもりだと語っていたのが印象的だった。また、アメリカはベトナム戦争参加への責任から、ベトナム孤児の養子も実に多くみられたが、果たして私たち日本人はどうだろうか？ 私の心の中に、ふとこの時、中国の日本人残留孤児が思い浮かんだ。侵略者であった日本人の子供たちを、決して豊かだったとは思えない中国人の養父母は、実によく育ててくれたと思う。もし、私たち日本人が彼らの立場だったら、果たして敵国の子供たちを育てる心を持っていただろうか？ 広大な国に住んでいると人間は心まで広くなるのかも知れない。

まずは、 私にも できることから

私は帰国後、今までやってきた外国人のホームステイ以外に何か出来ることがないかどうかが探したところ、フォスターペアレントという計画を知った。これは、発展途上国の子供とその家族に対する里親で、毎月わずかの経済援助で、経済的精神的に彼らを支えてゆく国際的規模の制度である。そして、これはささやかながら私に出来る社会への還元(奉仕)であると信じフォスターペアレントの一人として登録した。一人でも多くの子供たちに幸多かれ、と祈りつつ……



軽井沢セミナーでの討論の中にも日本とアメリカの違いが歴然と…。写真は同セミナーの休憩時間に講師と歓談する江守先生ご夫妻(左)

日本の教育も ボランティアを 育てるべき

先日、長野県保険医協会主催の軽井沢セミナー「在宅

全国機関紙担当事務局研修会の報告 研修会講師が 石川の協会紙を高く評価

事務局 杉野洋一郎

七月十三、十四日の両日、静岡県熱海市において、全国から三十五人の事務局員が集い、全国機関紙担当事務局研修会が開かれました。テーマは「編集企画入門」および「レイアウト、グレイドアップのためのワンポイントアドバイス」で、講師は、日本機関紙協会事務局次長の白岩寿光氏。

白岩氏は、編集の初歩から実際までを分かりやすく解説されたあと、参加者の持ち寄った各協会紙の講評をされました。

我が石川保険医新聞については、「全体的に読みやすいレイアウトで、いつも親しみを感じている。特に感心させられるのは、取材記事がとても充実し、内容も非常に高いレベルに仕上がっている」と、大変うれしい評価を頂きました。

さらに白岩氏は、読まれる機関紙の必須条件として「生活情報記事を重視する必要がある。地域と医師の交流や、福祉と医療の連携、あるいは会員のパーソナリティを引き出す記事、さらには会員の家族を紹介する記事などがどうしても必要である」と強調され、その例として石川保険医新聞を掲げ、「特に石川協会の医療と福祉を支える人た

ちは、地域で活躍する医療・福祉に携わる様々な職種の人たちを登場させ、医療・福祉というのは医師だけではなく、いろんな人たちの手で支えられていることを、質の高い取材でまともしている。この取材記事は石川協会のヒューマンな姿勢を紙面ににじみ出し、会員以外の人たちにも十分読みごたえのある企画になっている」と、石川保険医新聞を高く評価されました。

また、氏は「だれもが読むことの出来る、医療に全く関係のない遊びの欄も大切で、クイズや奥の深い読みもの記事を掲載出来れば読者層はもっと広がるはず」と付け加えられました。

このあと、参加者はレイアウト用紙とハサミ、ノリを手にして、レイアウト実習が始められました。レイアウトは各協会とも自己流に陥ることが常ですが、基本を再確認する良い機会になりました。

最後に、「編集会議の持ち方」について印象深かったことがあります。それは、「年度初めに年間の編集方針を決め、各号の特集や連載もののスケジュールを必ず立てる」ということでした。

当協会では、毎月欠かさず丁寧な編集会議を開いていますが、年間の編集スケジュールという点では、機関紙・文化部としての活動方針は立てているものの、具体的な計画は立てておらず、今後の課題にしたいと思います。

報告記事は 分かりやすさが第一

一方、氏は全国の保険医新聞に共通する評価として「各協会紙とも技術的にも記事の内容も優れているが、少し力が入りすぎではないか。例えば会議を初めとする各種行事の報告記事の中で難解な言葉が多すぎる。

支える人たちに 評価集まる

「生活情報記事を重視する必要がある。地域と医師の交流や、福祉と医療の連携、あるいは会員のパーソナリティを引き出す記事、さらには会員の家族を紹介する記事などがどうしても必要である」と強調され、その例として石川保険医新聞を掲げ、「特に石川協会の医療と福祉を支える人た

保険医年金

月払いとともに 一時払い

ただ今、申込受付中!! 切 10月25日(木)

石川保険医新聞

151号(1987年3月号)から
200号(1990年8月号)まで **合本完成**

1冊 3,000円

50部限定販売します。

ご希望の方は、事務局までお早目にお申し込み下さい。

なお、101号～150号までの合本も数冊在庫があります。
セットでお求めの場合 4,000円

☎0762-22-5373

第9回 老後問題を考える石川のつどい

▶メインテーマ

ほんとうの 豊かさとは何か

過疎・高齢化の中で

▶とき 9月30日(日) 午前9時半開会

▶ところ 門前町町民会館 / 3階ホール
(鳳至郡門前町字走出6-92-2、門前町役場隣)

- ▶プログラム
- 9:30～12:00 ……シンポジウム(町民会館)
 - 12:00～13:20 ……昼食及び見学(総持寺①)
 - 13:20～15:00 ……施設見学②③④

- ▶見学先
- ① 曹洞宗大本山総持寺
 - ② 阿岸本誓寺
 - ③ 健康センター「ほかじの館」
 - ④ 小規模ケア付老人住宅「ふれあいの家」



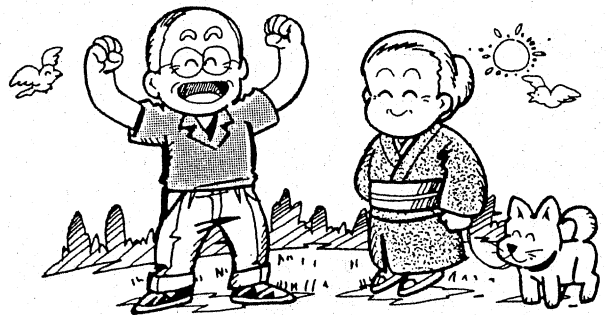
金沢駅前から前日午後2時発のマイクロバスを2台用意しています。前泊先は国民宿舎「能登つるぎ荘」です。お問合せは下記まで。

県下で最も高齢化現象がすすんでいる門前町では、県内初の小規模ケア付き老人住宅を建設するなど高齢者が住みよい地域づくりに早くから取り組んでいます。今回は、今注目の門前町にスポットを当てて、シンポジウムを開きます。行政担当者はじめ、住民の皆さんと共に、豊かな老後をどのようにつくり出していくのか、これからの高齢者の保健・医療・福祉の在り方を卒直に話し合う機会にしたいと考えています。

ぜひ皆様のご参加をおすすめ致します。

シンポジスト

- ① 一人暮らし老人等の意識調査から……………(源 恒夫・門前町福祉課長)
- ② 門前町の老人医療の現状と問題点……………(大和一成・大和医院院長)
- ③ 奥能登を離れて思うこと……………(高島 要・石川高専助教授)
- ④ 過疎と高齢化問題……………(井上英夫・金沢大学法学部教授)



主催 / 老後問題を考える石川のつどい

後援 / 門前町・輪島鳳至医師会・NHK金沢放送局・朝日新聞社

●世話人代表 梶井幸代(北陸婦人問題研究所所長)

●連絡先 石川県保険医協会 ☎0762(22)5373
又は門前町福祉課 ☎0768(42)1111代

会員無料・非会員五百円(送込)

お申し込みは協会へ
0762-22-5373



A 5版・33頁

この度、愛知県保険医協会地域医療部より、手軽な訪問看護マニュアル(三十三頁)が出版された。著者は国見辰雄氏で、五十人近い在宅療養者の精神的な訪問看護の企画と経験の中から書かれたものです。

訪問看護を企画しようとする医師にとっても、また実践する看護婦にとっても分かりやすく参考になることが多い。

第三の医療といわれる在宅医療における訪問看護の基本的理念について法的面からも簡単に触れ、訪問看護の実践面では実技は省略され、むしろ患

者や家族との接し方、話の糸口や全人的な対応の仕方、チームワークの取り方、医師・行政・福祉関係者との連携など、具体的に書かれていて面白い。圓祥上人(えんじょうしようにん)のおふみを引用するなど国見氏の一面がうかがえる。

また月間スケジュール表の作成や訪問看護計画書、記録の取り方、看護用品の七ツ道具など大変参考になります。このパンフレットをご希望される方は石川県保険医協会までお申し込みいただければ無料でお分けします。

(大野幸治)

訪問看護マニュアル

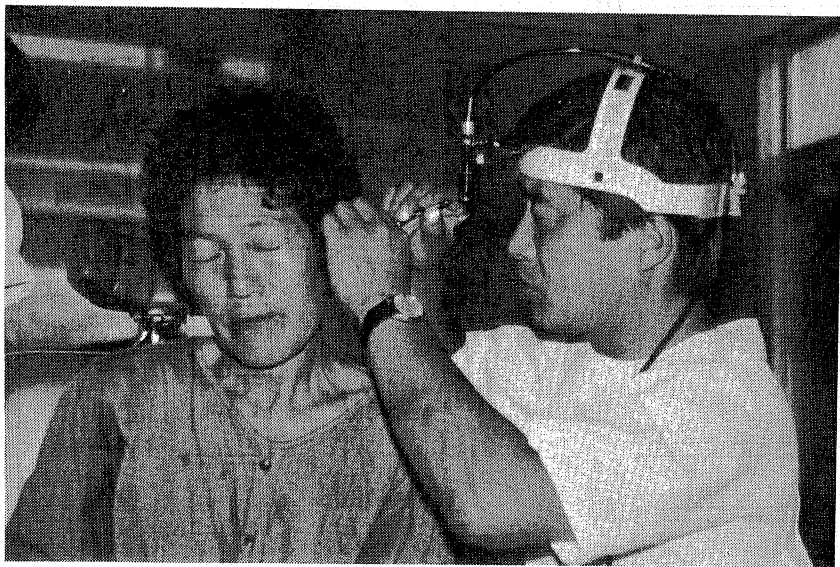
国見辰雄 著
愛知協会発行

新刊案内

医療福祉をさぐる人々

25

《年一回(夏)の舢倉島総合診療》



耳鼻咽喉科の小森 貴先生

輪島の北、約五十キロメートル沖合にある周囲およそ四キロメートルの島、舢倉島は海女(あま)によるアワビ漁の島として有名です。

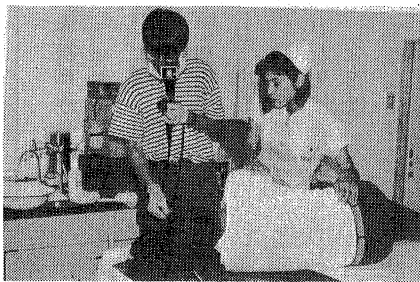
この島では、毎年夏に一泊二日の日程で、「へき地総合診療」が行われています。

島には、医師の常駐する診療所がありますが、専門医療を受診する条件に乏しい島民にとって、健康確保のための貴重な機会になっています。

今回は八年前にわたってこの舢倉島総合診療に参加してきた、石川保険医新聞の編集部員でもある小森貴先生(金沢市・耳鼻咽喉科)のご協力を得て、同行取材をさせて頂きました。

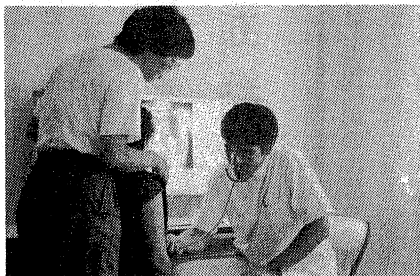
「専門医受診の機会を…」住民の期待に答えて

舢倉島の人口は、五十人前後と変動する。島に住む人たちのほとんどが漁業従事者で、その多くの人たちが輪島市海女町にも家を持つ。極端な人口の移動は、夏を中心とする漁期に集中し、冬期は輪島市の家に帰るためである。いわば輪島市に実家を持つ海女を中心とする漁師たちの「職場」が、舢倉島というわけである。そのため島民の年齢構成は必然的に働き盛りが中心となり、子供たちは島の分校へ通うが、老人たちは輪島市で暮らすため、ほかの僻地のような「過疎化」や「高齢化」という言葉はここにはない。



胃内視鏡を担当する高島一郎先生

最近では島で越冬する人口が増え、定住する人たちがわずかながら増えている。また、一九八〇年からは自治医大を卒業した医師が半年交代(夏の先生・四月〜九月、冬の先生・十月〜三月)で赴任するようになり、医療設備も整って診療所の機能はかなり向上している。



内科の嶋崎正晃先生

今年四月に診療所に赴任した「夏の先生」は、鍛冶治恭介先生。今年三月十八日に半田詮先生(金沢市・内科)の次女、玲子さんと結婚され、現在ご夫婦で診療所隣の総合センターにお住まいになっている。



鍛冶先生と、その奥様(半田先生の次女玲子さん)に会いに来られた半田先生ご夫妻



眼科の山村敏明先生

七月二十八日(土)、午前八時三十分、耳鼻咽喉科医として小森先生、外科医(消化器)の高島一郎先生(公立能登総合病院)、内科の嶋崎正晃先生(輪島病院)、眼科の山村敏明先生(金沢医科大学)ほか、県立中央病院の看護婦、輪島病院の



今年9月いっぱい診療所に赴任される鍛冶先生と玲子夫人

住民本位の治療方針で

島では、「休日は海のシケたとき」という独特の住民意識があるため、日曜、祭日でもあまり関係なく受診する人が多く、スタッフのいない診療所では、医師が一切のことをしなければならなかった。

ればならないというご苦勞に支えられ、住民の安心が保たれている。

舢倉島では一九八二年に住民アンケートを実施した。その中で「眼科や耳鼻科、歯科などの専門医を受診する機会を…」という住民の要望があることが確認された。翌年、このアンケートについて様々な人々と「座談会」が開かれ、この要望が、輪島市と石川県の共同事業として「総合診療」という形で実現されることになったわけである。

この日は、海女さんたちが夕方まで海にもぐるということで、日中はお年寄りや、胃カメラ検査の受診者がほとんどで、患者さんは夕刻に集中した。

午後三時ごろ患者さんが一旦とだえたのを機に、小森先生の「島を案内する」という言葉で、いざ出発。

しかし、「医者に診せると仕事を休めといわれるから、受診しない」という頑固な患者さんもいるらしく、ここでは「普通の治療方針が通用しないことがある」という小森先生の言葉が印象的であった。

今回この総合診療に参加された小森先生以外の三人の先生方は、過去に六カ月の赴任経験を持たれる。お話を伺う中で、舢倉島の限らない愛着を持たれていることを容易に感じ取れた。

放射線技師、県の衛生総務課職員ら総勢十一人は、定期船「へぐら」に乗り、舢倉島に向けて出発した。

超満員の船内で半田先生ご夫妻と偶然お会いした。「これから娘夫婦(鍛冶先生ご夫妻)に会いに行くところですよ」とのこと。定期船の欠航などで島に渡る機会を何度も逸し、先生ご自身は次女玲子さんが結婚されて始めての「舢倉島行き」とのことであった。

「小森先生、患者さんお待ちです。診療所までお戻り下さい」。舢倉島では、この放送は島中どこからでも聞こえる。ポケットベルは不要なのだ。急いで戻るのが十五分はかからなかった。

患者さんは素もぐりでの漁という特殊な労働による疾病で、眼科・耳鼻科の受診者が多かった。中には手術や、仕事を休むことが必要な疾患も少なくなかった。

今回の取材では、先生方をはじめ、スタッフの方々、そして患者さん、たくさんの方の島の人たちにとっても温かいご協力をいただいた。心からお礼を申し上げます。(保険医協会事務局 杉野)

一人医師医療法人

検討コーナー

〈7〉

もうひとつの持ち分評価方法

類似業種比準価額方式

先月号からのつづき
前回、相続時の有利・不利を巡ってその前提としての評価方法について「純資産価額方式」を紹介し事例を検討しました。今回は、もうひとつの「類似業種比準価額方式」を解説します。漢字ばかり並んでいますが、要は毎月税務当局から発表されます類似業種の上場株

価に比準して、さらに、一株当たりの利益額・純資産額の程度を勘案して株価を決定するものです。

五、結果

類似業種比準価額方式は上場株価の上昇と、自院の収益性の高さ(通常、一般企業より相当高い)から、相当評価が高くなります。設例では、一口一万円の出資が、二期経過した時点で五倍強の五万円強になっています。なお、実際には、前回の純資産価額方式との併用がききまますので、若干これより低下するものです。

六、対策

①医療法人の利益が何らかの理由で特に低下した時。
(例)理事長の退職金支給時診療所の一時閉院時などに(B)が低くなり、その結果、類似業種比準価額が低下します。この時に持ち分を贈与する方法。

②毎年少しずつでも後継者に持ち分を贈与してゆくと、

いづれにせよ、前提として、自院の持ち分評価を適時に行って、その推移を見極めることが大切です。

◇ (『愛知保険医新聞』から転載)

(1) 計算公式

$$A \times \frac{\frac{B}{B} + \frac{C}{C}}{2} \times 70\% \times \frac{P}{50} =$$

1口当たりの評価額

A：類似業種(その他産業、No.125)株価
B：同上の1株当たりの年利益額
C：同上の1株当たりの純資産額
(B)：自院の1口当たりの年課税所得
(C)：自院の1口当たりの帳簿上の純資産額
P：自院の1口当たりの出資額面

(2) 設例

- ①相続(贈与)の日 1989年12月20日
②評価医療法人 P出資金2,000万円(1口1万円×2,000口)
(B)直前期の法人税課税所得(年間利益) 800万円(1口当たり4,000円)
(C)直前期の法人税法上の純資産額(設立後2期、(B)の所得で推移したと仮定。) 2,000万円×800万円×2期×50%(税率)=2,800万円(1口当たり14,000円)

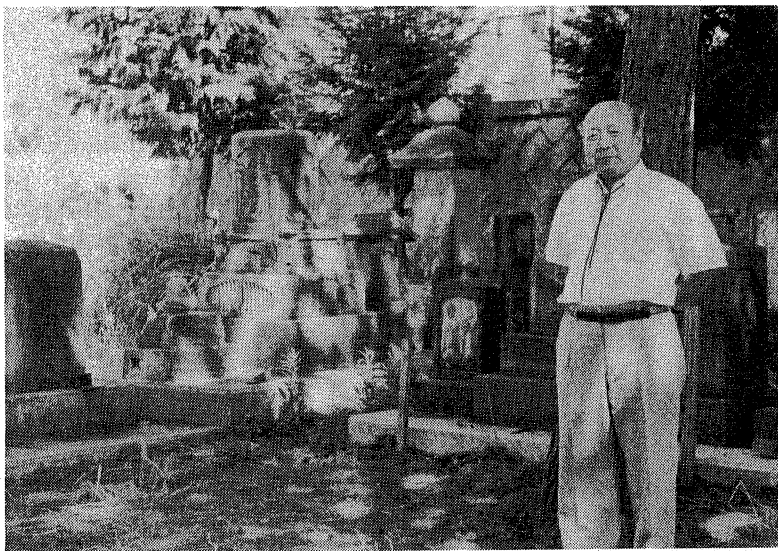
(3) 税務署発表の株価等

| 番号 | B | C | A | | |
|-----|----|-----|---------|----------|----------|
| | | | 1988年平均 | 1989年11月 | 1989年12月 |
| 125 | 40 | 234 | 928 | 1278 | 1338 |

(注1)株価(A)については、評価月以前3カ月間の各月の株価と、前年平均株価のうち最も低いものによります。傾向として株高ですので、上記のように1988年平均が最も低いのでこれが採用されます。
(注2)上記はすべて50円額面換算

(4) 評価法人の持分計算

(1)、(2)、(3)により設例の一人法人の持分(株価)評価計算は
 $928 \text{円} \times \frac{\frac{20}{40} + \frac{70}{234}}{2} \times 0.7 \times \frac{1 \text{万}}{50} = 50,660 \text{円}$
(注1)1口1万円の出資額面を50円換算すると
出資2,000万円÷50円=40,000口
利益800万円÷40,000=20円
純資産2,800万円÷40,000=70円
(注2)注1計算後、額面を1万円に戻す



36基の遊女たちの墓に囲まれて...

栗野利雄先生の 記念碑めぐり

史蹟 遊女の墓

(小松市・串茶屋町)



この日は、神田事務局長(左)も同行して

遊女の墓—女の古戦場—

夏草や

強者どもが

夢の跡

芭蕉

国道八号線から西側に入ると、小松市串茶屋町と今江町八丁目間に広がる田園の中に、肩を寄せ合うように立つ墓松の一群が目に入ってくる。「串茶屋は北陸街道沿

いの一寒村にすぎなかつたが、前田利常公が小松城に隠居したところから公認の遊廓が設けられた。大聖寺藩領となつてからは、加越能三州における唯一の廓として、金沢、小松、大聖寺から多くの遊客を迎えるほか、北前船全盛時代とも重なって、全国的な広がりを見た。ことに文化年間は全盛期で、十数件が立ち並び、衣服・調度などは吉原や島原を模し、華美を極めていたが、文政六年の大火や天保の改革令、

鎮魂の幻想歌 としお
一、みな若く
散りしさくらや
遊女塚

二、むざんやな
兜の下や
桃割れて

三、「討ち取ったり」
首にはあらず
桃の華

四、松籟や
墓の遊女の
咽び泣き

囲碁

出題者
六段 向井富治
(金沢市・内科)

碁

大橋裕六段との対局に生じました。黒先です。(解答は第2面)